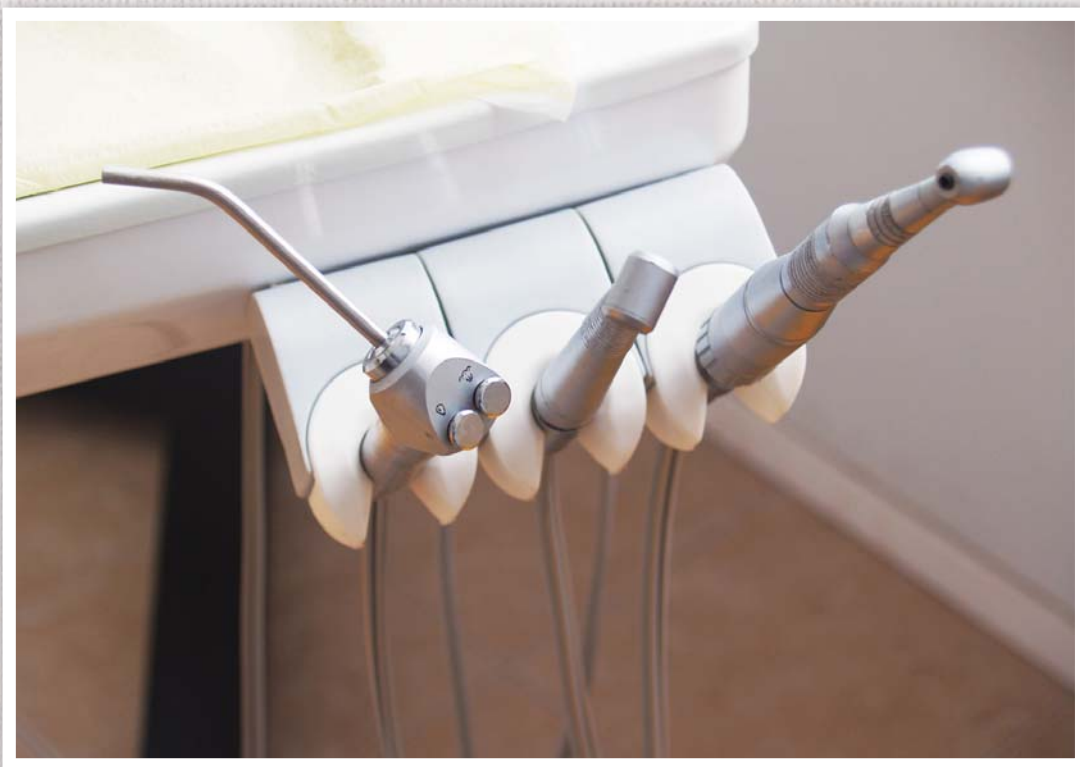


大嫌いな歯医者さんが 大好きになったわけ

～まいちゃんの奮闘記～





**まいちゃんは歯医者さんが大嫌い。
何をされるのが分からない不安はもちろん、
聴覚過敏のため耳にする機械の音は、
特に苦手。
歯医者さんはまいちゃんが
怖いと思うことだらけ。**

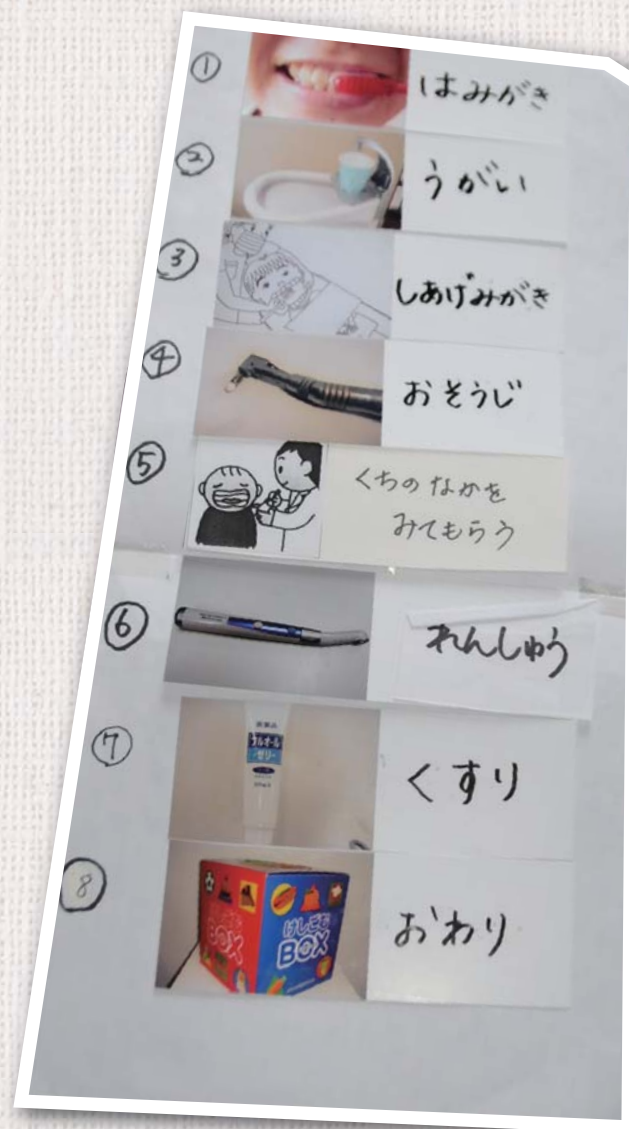
自閉症のまいちゃんは、
自分の口ではっきりとした意思を
伝えるのは簡単ではありません。
「嫌だー」「怖いよー」。
泣いて、叫んで、暴れて……
でも歯医者さんは分かってくれません。
たくさんの人に押さえ付けられ、
無理やり口をこじ開けられたことも。
いつしか、歯医者さんの建物を見るだけで
怖がるようになってしまいました。





**お母さんも嫌がるまいちゃんを
歯医者さんに連れて行きたくはありません。
でもまいちゃんの虫歯は
どんどんすすんでいきます。
このままほっておくと永久歯に影響が出てくるし、
痛くてご飯が
食べられなくなってしまうこともあります。**

ほとんど
お母さんが困り果てていた時、
出会ったのが
倉吉市内の歯医者さんでした。
この歯医者さんは
知的、脳性まひ、ダウン症、発達障がいなどの
障がいのある患者さんも訪れます。
障がい特性を理解した、
診療をしてくれる歯医者さんでした。



でもまいちゃんにとって
歯医者さんは怖い場所。
初めて訪れた時は
中に入るこゝすらできなくて、
外にあるイスに座って
お口の中だけを診てもらいました。
待合室に入れるようになっても
診察室に入ることができません。
「今日はここまで来てみようか」。
歯科衛生士の岡本さんが今日の目標を示し、
まいちゃんも頑張って少しずつでも
診察室に近づいたり、
機械や器具の役割を一つ一つ
絵や写真を使って教わったり、
器具を借りて家でお母さんと練習もしました。

はいしゃさんのはぶらし



はをピカピカにします

そうじき



おくちのなかの
つばやみず、ごみをとります

スリーウェイシリンジ



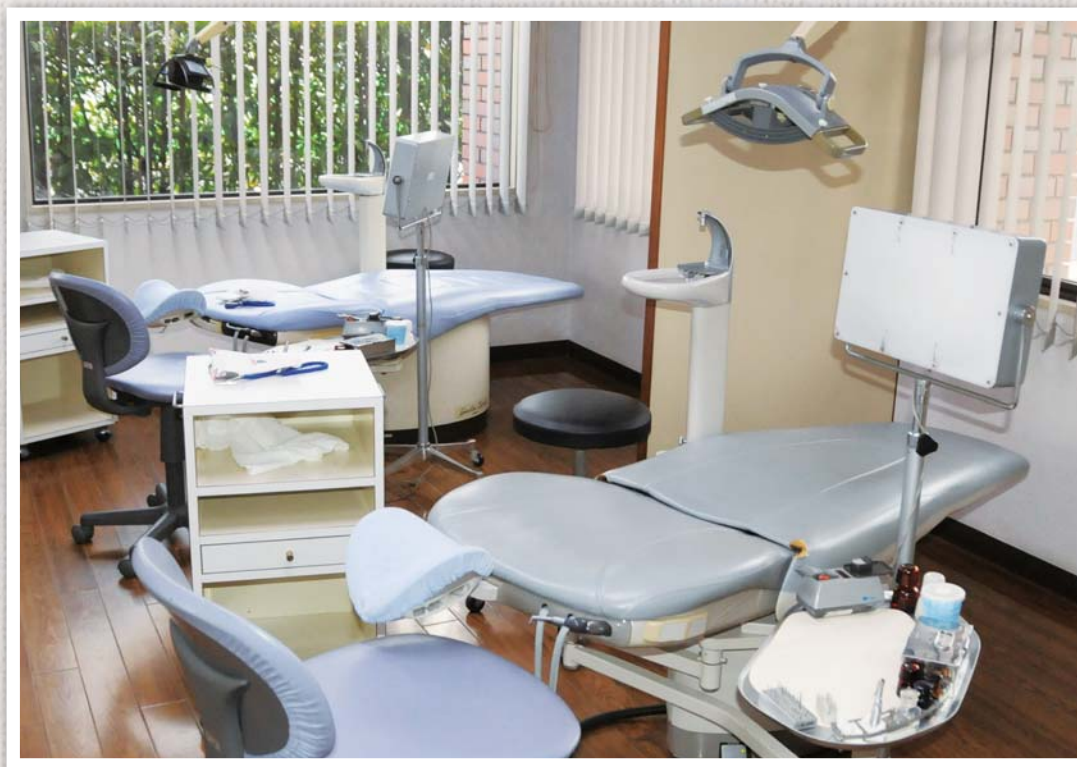
みず→くちのなかをあらいます
くうき→ぬれたところをかわかします
みずとくうき→シャワーになります

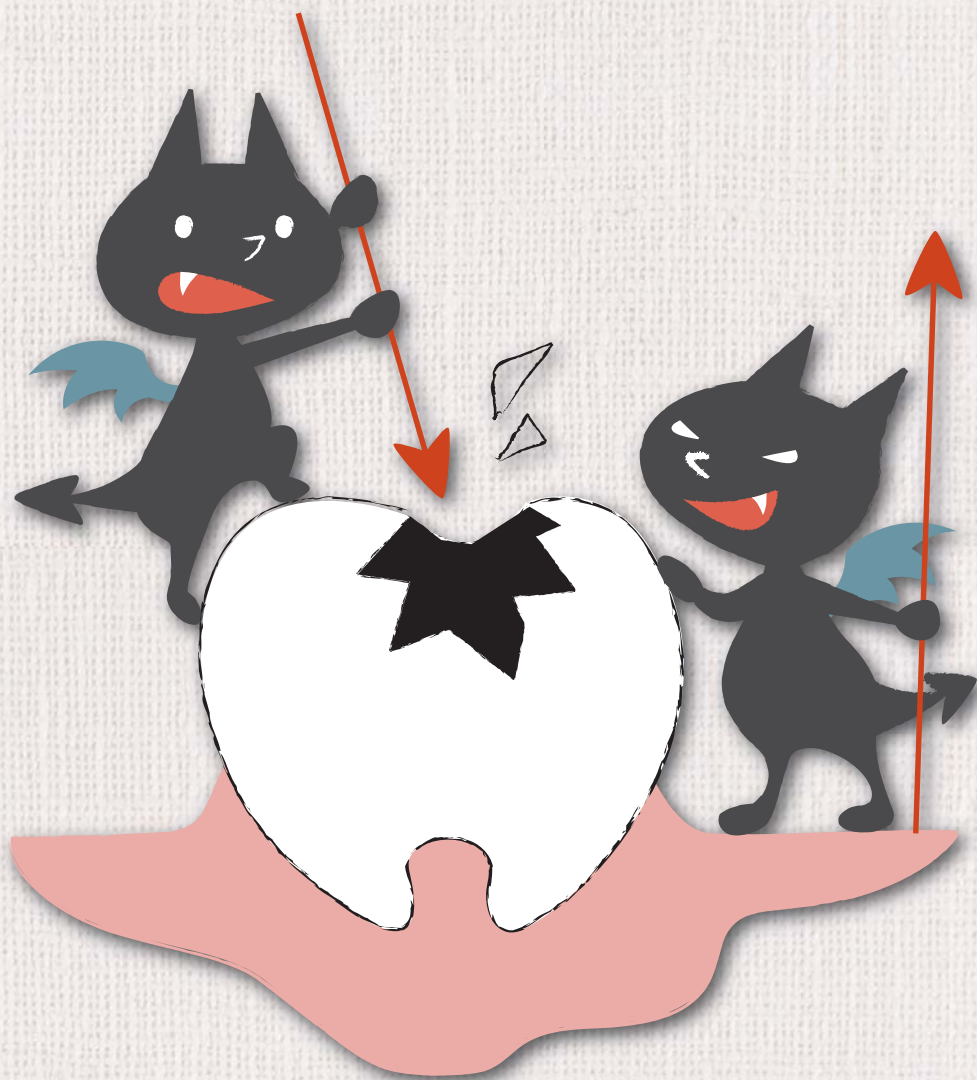
ひこうき



ジェットのおととシャワーで
むしばをとります

そしてついに通院9回目で
診察室に入ることができ、
12回目で診察するイスに座れました。
イスに寝て
診察ができる体勢ができたのは41回目、
50回目で簡単な治療が
できるようになりました。
初めて来たのが小学1年生の春。
その時からずっと、岡本さんがお口の中を
チェックしてくれています。
まいちゃんはいま中学3年生。
毎月1回、お母さんと一緒に
この歯医者さんを訪れています。





「まいちゃん、こんにちは」。
いつものように笑顔の岡本さんが
迎えてくれます。
「上手に歯磨きができているかな」
「虫歯はできていないかな」。
手順を示した絵や写真を目の前に置き、
自分で歯磨きをして岡本さんに仕上げ磨き、
お掃除、お薬を付けてもらいます。
正しいみがき方をおさらいして、
虫歯にならないように頑張っています。

今でも言葉で
コミュニケーションを取るのには難しいけど、
嫌がらずに診察するイスに座ります。

岡本さんがいる
この歯医者さんだから安心です。
安心して通うことができました。

頑張ったごほうびは消しゴム。
まいちゃんは
このかわいい消しゴムを手になると、
ニッコリ笑顔になります。



「自閉症・発達障がい」について

障がいの困難さも目立つが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。養育環境ではなく脳の機能障がいによるもので、どんな能力に障がいがあるか、またどの程度なのかは人によってさまざまです。

★こんな配慮がうれしい！

- ◇障がいのため困難なことを「なぜできないのか」と見るのではなく、どうすると良いかを具体的に示す
- ◇「知らないこと」「初めてのこと」など変化への対応が苦手なので、絵や写真を使ってあらかじめ本人が納得できるように見通しを示す

あしがき

「発達障がいは一見して分かる障がいではないので、さまざまな誤解を持たれてしまうことがあるんです」。発達障がいを持つ子どもさんのお母さんが一様に口にした言葉だ。出会ったどのお母さんも笑顔でこれまでを振り返り、時には冗談を言いながら話してくれた方もいた。でもその内容は悩み、苦しみ、辛かったこともある。

発達障がいと向き合い、前向きに生活を送っているからこそ笑顔でいられるんだと思う。以前に比べ、発達障がいという言葉は浸透しているが、まだ理解していない人も多い。良き理解者が増えることが何より支えになることを痛感した。(石)